

最近思うこと

「子どもはゲームばかりやって勉強をしないんです。」という話がよく耳に入ってきます。

子どもたちはTVゲームが大大大好きです。

実は、正直言うと私もTVゲームが大好きです。例えば、かなり古いかもしれませんが、「桃太郎電鉄」「スマッシュブラザーズ」「マリオカート」「ストリートファイターシリーズ」「ファミリースタジアム」などのソフトは、たいへん面白かったです。

「こんな面白いもの、いったい誰がつくったんだ。」と思っています。

しかし、「ここで、TVゲームをどんどんやりましょう。」と奨励しているわけではありません。

私の場合、TVゲームは面白いのですが、基本的にコンピュータ相手では、それほど面白くはありません。やはり、人間相手が一番面白いのです。友だちとゲームすると、お互いに表情が分かるし、思わず興奮もするし、本気になってしまうこともあります。あくまで、TVゲームを通して、自分の相手は人間ということです。

心配なのは、TVゲームの画面とだけにらめっこしている子どもです。コンピュータ相手だとコントローラの操作だけで済みます。やればやるほど上手くなっていき、ある一定のレベル、点数を取るとコンピュータが褒めてくれます。コンピュータは全てを受け入れてくれます。上手いかなかったら、リセットボタンで、全てなかったことに。そこには、嫌なことなんてありません。それもTVゲームの魅力のひとつであると思いますが、私はそこが一番コワイところに思えてなりません。友だち同士の中で「あんなこと言われて嫌だった。」という経験は、子どもたちの発達段階では大切なことです。「こういうことを言うと相手は傷つくんだな。」と思ったところから相手に対する思いやりの心が生まれると思います。

嫌なことから逃げ回り、または相手の痛みを知らずに、自分の都合のいいことばかりしか選ばない子どもが大きくなって社会に出ていったら、どうなるでしょうか。考えただけでも恐ろしいことです。

駒形小の子どもたちに限って、そんなことはないと思いますが、陰湿ないじめや児童虐待などのニュースを聴くと、とても対岸の火事には思えません。